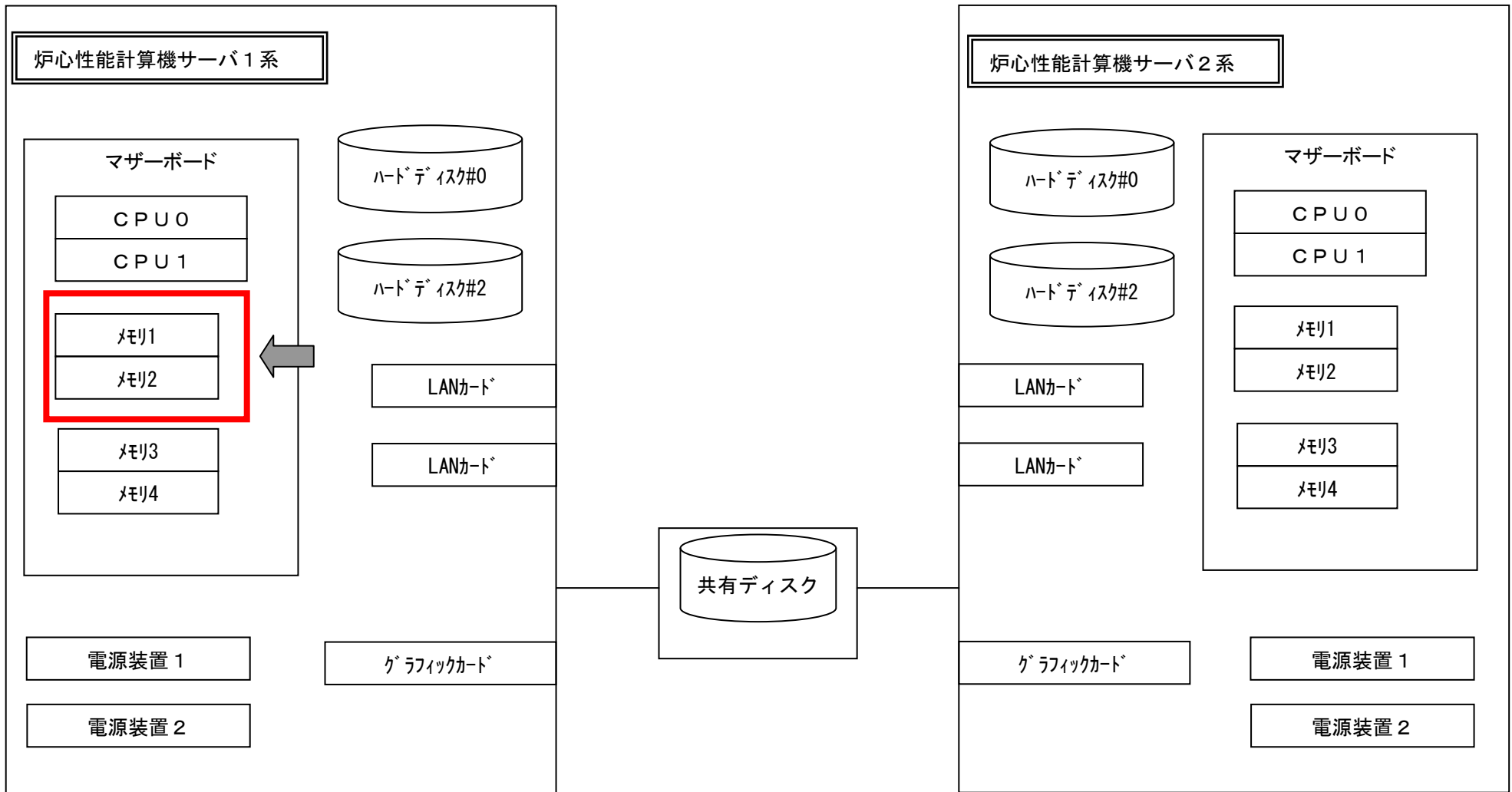


3号機 MOX燃料使用に際しての安全監視状況（不適合事象※）に関する対応状況について

※公表区分（その他）事象に関して、プルサーマル実施に際しての安全監視の観点より抽出した不適合事象

【情報提供対象期間： H22.9.12 ～ H22.9.18】

件名	発生日	不適合内容	対策結果
炉心性能計算機サーバ1の停止について	平成22年9月14日	<p>第25サイクル用の計算機定数※¹を炉心性能計算機※²に入力していたところ、炉心性能計算機サーバ1が停止し、予備の計算機サーバ2に自動で切替わる事象が確認された。</p> <p>※1 計算機定数 炉心計算をする演算装置に、当該サイクルの燃料情報を入力する。</p> <p>※2 炉心性能計算機 炉心性能計算を行う演算装置であり、2重化されている。炉心性能計算システムにより、炉心性能が計算されており、主要なプラント入力、圧力、温度、流量、LPRMの読み、TIPの読み、制御棒位置などを基に、出力分布計算を実行することにより求められる。</p>	<p><原因> 保守用装置を用いてハードウェアの調査を実施した。エラーを採取し解析した結果、炉心性能計算機サーバ1のメモリに問題があることが判明した。</p> <p><対策・結果> メモリを交換したところ、システムに正常に作動した。その後、システムの健全性に問題がないことを確認し、炉心性能計算機サーバ2から1へ手動切替えを行い正常に復帰した。</p>



炉心性能計算機ハードウェア構成概略図